

ネズミムギ種子の休眠特性と防除対策

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

1 部門名

普通畑作物－小麦－雑草防除

2 担当者

小森秀雄

3 要旨

ネズミムギ種子は、25℃暗黒条件で播種後130日間で大半が発芽する。小麦の播種まで不耕起管理を行い、耕うん播種前にグリホサートカリウム塩液剤を使用することで、ネズミムギを大幅に抑制できる。

- (1) 当年産のネズミムギ種子は人工気象器内で25℃暗黒条件で、麦類の播種期に相当する置床後130日後までに大半の57%が出芽し、当年度のネズミムギ雑草害の主な原因となる(図1)。
- (2) ネズミムギの多いほ場では、小麦の播種まで不耕起で管理することで、ネズミムギ発生量を耕起管理の1/5まで削減できる(図2)。
- (3) 小麦耕うん播種前にグリホサートカリウム塩液剤を使用することで、さらに除草剤無使用－不耕起管理の1/3までネズミムギ発生量を削減できる(図2)。

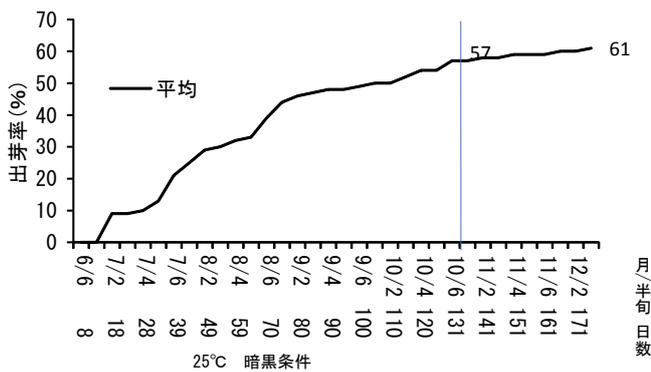


図1 成熟直後のネズミムギ種子の発芽試験

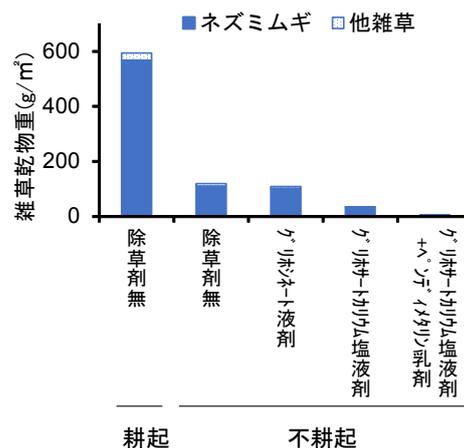


図2 ネズミムギ多発ほ場での雑草発生量(成熟期調査)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成29年度
- (2) 研究課題名 麦類の低コスト安定生産技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

なし